

校長より

新潟県立新潟県央工業高等学校
校長 松原直樹

新潟県立新潟県央工業高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、明治44年に南蒲原郡立三条商工学校として開校し、令和5年に110周年を迎える歴史と伝統を持つ工業高等学校です。その間、2万4千人以上の有為な人材を育成し、卒業生は地元の県央地域のみならず、全国、そして、世界で活躍をしています。

新潟県央工業高校は、三条市にあり、鬼踊りで有名な法華宗の総本山 本成寺のそばに立地し、また、日本一の大河・信濃川と五十嵐川が近くを流れ、越後三山奥只見国定公園も近くにある、豊かな自然に恵まれた環境にあります。また、この地域は、古くから金属加工業が盛んであり、日本有数の金属製品の産地としても知られ、国内はもちろん世界的にその技術と品質は高く評価されています。三条市周辺の刃物・工具類、燕市周辺の食器類が有名です。

このホームページが、本校についての理解を深めるために、新潟県央工業高等学校に入学を希望される皆さん、ゆかりのある方々、関心のある方々により、活用されれば幸いです。

教育目標

本校の教育目標は、「知性・情熱・創造」のもと、豊かな教養と探究心、確かな技術・技能を身に付け、将来の工業のスペシャリストとして心身ともに健康で、たくましい人間を育成する。

社会的役割等スクールミッション

- ・ 県央地域唯一の工業高校として、「知性・情熱・創造」の理念のもとに、探究心、豊かな心、思いやりの心を持った生きる力を育成する。
- ・ 工業のものづくりやキャリア教育を通して、広く、深い知識や技能・技術力を身に付け、地域で活躍・貢献できるテクノロジストを育成する。
- ・ 県央地域の技術力・魅力を知り、地域に対する愛着と理解を深め、地域社会の発展に貢献する。

学校紹介

○特色あるコース・学科

新潟県央工業高等学校では、1年次は工業科として入学し、その後、2年次に5つのコース（機械技術コース、メカトロ技術コース、生産プログラミングコース、建築コース、都市防災コース）に分かれ、技術を習得し、卒業学科は、機械加工科、電子機械科、情報電子科、建設工学科となります。

○全国レベルの部活動

平成20年に野球部が甲子園に出場し、ウエイトリフティング部、レスリング部、卓球部、陸上競技部が全国大会、北信越大会に出場しています。また、ロボット競技部、機械工作部、建設部が全国レベルの活躍をしています。